

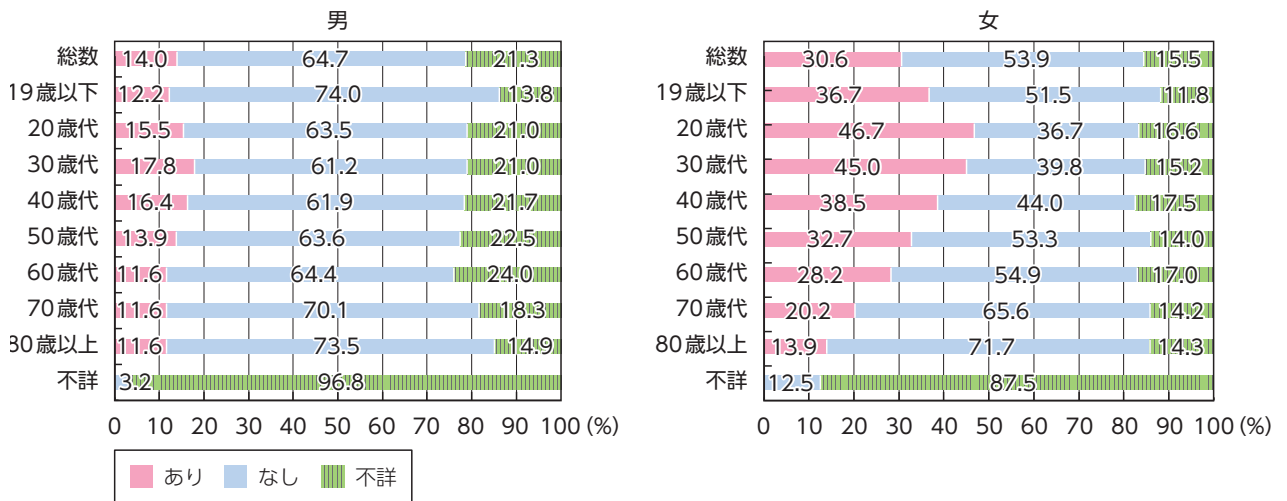
## 8 自殺未遂の状況

平成27年における自殺者の自殺未遂歴の有無について、自殺統計によれば（第1-35図）、全ての年齢階級で、自殺未遂歴が「あり」の者の割合は、女性が多くなっている。特に、女性の20歳代及び30歳代において、40%以上の者で自殺未遂歴が「あり」となっている。また、男女別にみると、自殺未遂歴が「あり」の者の割合について男性は30歳代、女性は20歳代が多く、男女とも30歳代以降は年代が上がるにつれてその割合が小さくなる傾向がある。

次に、消防庁の救急・救助の現況によれば（第1-36図）、自損行為による救急自動車の出動件数及び搬送人員は共に増加傾向にあったが、近年では減少が続いている。平成26年における自損行為の状況については、救急自動車の出動件数は6万136件であり、前年に比べ4,557件（7.0%）減少している。

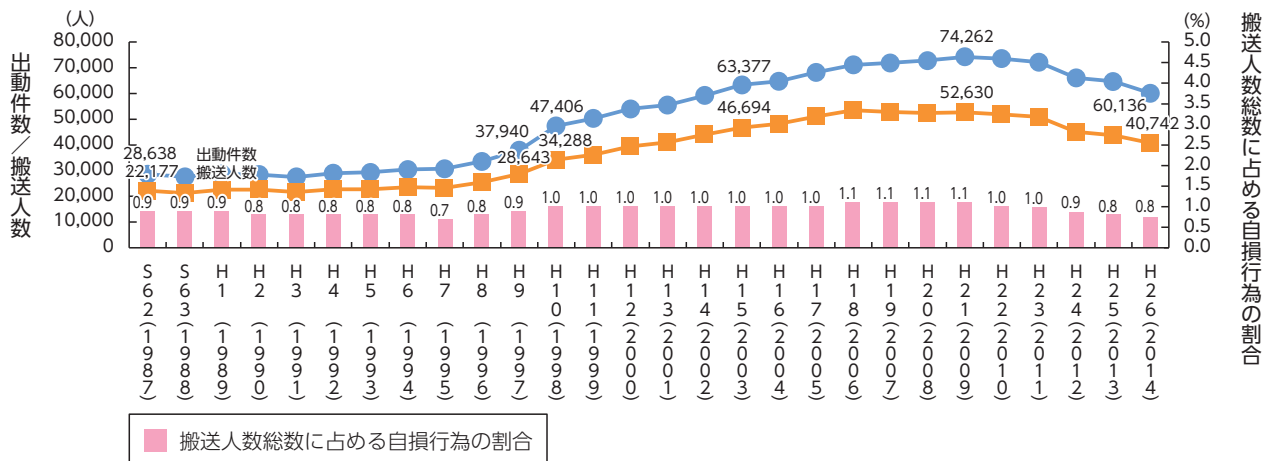
搬送人員は4万742人であり、前年に比べ2,973人（6.8%）減少している。また、搬送人員総数に占める自損行為の搬送人員の比率は、横ばいで推移しており、平成26年は0.8%となっている。

第1-35図 平成27年における自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

第1-36図 自損行為による救急自動車の出動件数及び搬送人数の推移



資料：消防庁「救急・救助の現況」より厚生労働省自殺対策推進室作成